



海老沼小だより

～かしこく やさしく たくましく生き抜く子
笑顔と歌声あふれる学校～

5月号

平成30年5月1日

さいたま市立海老沼小学校

“やる気 元気 チームワーク” みなぎる5月に

校長 森 裕子

今朝、かわいい実をたくさんつけた“さくらんぼ”の枝をプレゼントしてくれた1年生がいました。おうちからわざわざ折って来てくれたようで、実が落ちないようにと、新聞紙にくるんで大事にもってきてくれました。私に、と思いついてくれた1年生の気持ちをとともうれしく思いながら、清々しい緑の葉っぱと鮮やかな赤い実を見て「4月も終わり、5月になるのだな」と実感しました。

116名の新入生を迎え、643名となった児童と46名の教職員でスタートした4月、新しい環境で緊張したり、はりきったりしながら過ごしてきて、少なからず疲れがたまっていることと思います。先生方もこの4月は、毎日遅くまで仕事をしていました。子ども達のためにと本当に熱心で感心させられますが、体は、家庭は、大丈夫なのかと少々心配にもなりました。さあ、ゴールデンウィークです！連休中は、子ども達も先生方もゆっくり体を休め、自分の楽しみな時間をもったりしてリフレッシュしてほしいと思います。そして連休明けは、心身ともに健やかな状態でまた日々の教育活動に邁進してほしいと願っています。特に1年生には、「学校大好き、がんばるぞ！」という気持ちで、また登校してきてほしいです。1年生は初めての学校生活で何かと大変だったと思いますが、よくがんばっていました。そしてめざましい進歩を遂げています。あつという間に校歌を覚えて、毎日楽しそうに歌う声が響いています。また、授業中に教室をのぞいた時の風景が入学した頃からどんどん変化しています。背筋がしっかり伸びて、顔を上げて先生の話を中心して聞いています。時には、えんぴつを持って真剣に文字を書いたり、誰も声を発することなく静かに教室を移動していたり・・・私は、元は中学校の教員なので、このような劇的な変化には本当にびっくりさせられます。ご家庭でのサポートも、本当にありがとうございます。次の参観をどうぞお楽しみになさってください。

2年生から6年生もすっかり、一つ進んだ学年の顔です。5・6年生は高学年として、音楽朝会や委員会・クラブ活動などでしっかり学校をリードしています。新しく来られた先生から「海老沼の高学年は、すばらしいですね。下の学年の子はそれを見習ってがんばるのですね。」と評価してもらいました。まったくそのとおりで、3・4年生も中学年として高学年に続け、とやる気で満ち溢れています。2年生も、もう1年生ではありません。(当たり前ですが…)1年生の面倒をみる、一つ上の“センパイ”です。2年生は、1年生と仲良くする会をしっかり企画・運営したり、1年生の手を引いて校舎の中を案内する学校探検をしたりして大活躍です。このような子ども達のがんばりと無限の可能性に惹かれて、私たち教員は日々がんばれるのだなとつくづく思います。

さて教職員46名と言いましたが、実は本校にはあと2名「先生」と呼ばれる方がいます。大学生のボランティア先生です。昨年度は男性1名でしたが、その方が海老沼小はとていい学校だと話すのを聞いた同級生の女性の方がぜひ働きたいと今年度から来てくれています。お二人とも、とても熱心で子ども達の面倒をよくみてくれています。だから、子ども達も大学生先生が大好きです。こんなふうに、地域、保護者の方々のみならず、いろんな方々から愛され、ご縁が広まったり深まったりすることをとても幸せに感じています。

5月は、一段落する時期であるとともに、五月病という言葉もあるように、虚脱感、無気力感を感じる時でもあります。本校では、そのようなこととは無縁となり、“五月晴れ”のさわやかな青空のもと、教師も児童も一丸となって、益々楽しく充実した日々にして参ります。

どうぞ保護者、地域の皆様の一層のご支援を賜りますよう、よろしく願いいたします。



児童朝会で新委員長、副委員長が決意表明！“新生”整美委員会は「学校をキレイにします！」と宣言してくれました。